



ねりまの文化財

練馬区 地域文化部
文化・生涯学習課
伝統文化係
〒176-8501
練馬区豊玉北 6-12-1
TEL 03(5984)2442

第23回 郷土芸能ねりま座公演

■ねりま座とは?

「ねりま座」公演は、年に一度開催する練馬区の郷土芸能の祭典です。

当日は、練馬区内で活動をしている囃子連(計14団体)の中から4団体が出演し、各地域で受け継がれてきた囃子を披露します。

また、関東近県から毎年お招きする郷土芸能団体の客演もあります。

今年度は、右記のとおり開催します。
ぜひ、お越しください。

■日時 令和8年3月8日(日) 13時~
[12時半 開場]

■会場 生涯学習センター
(練馬区豊玉北6-8-1)

■定員 300名(先着順)

■費用 入場無料

■申込 当日会場で受付

※詳しくは、2月11日号ねりま区報・チラシ・区ホームページ・区SNS等をご覧ください。

【第23回 出演団体】

北町囃子保存会・富士見台囃子保存会

石神井台囃子連・関町囃子保存会

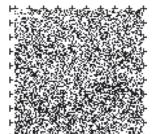


【客演団体】

八王子車人形 にしかわこりゅうざ 西川古柳座 (国指定重要無形民俗文化財)

演目:「東海道中膝栗毛」一赤坂並木から卯塔場の段

車人形とは、「ろくろ車」という、前に2個、後ろに1個の車輪がついた箱型の車に腰掛けて、1人が1体の人形を操る、特殊な一人遣いの人形芝居です。



【お囃子の成り立ち】

慶長8年(1603年)、江戸に徳川幕府が開かれると、江戸市内では祭礼が盛んに行われるようになり、祭りを盛大にはやす『祭り囃子』が誕生しました。

幕末から明治期にかけて、東京郊外の農村部でも、江戸の祭り囃子が盛んになりました。曲調も『のどかな笛の音を聞かせる大間(おおま)』『締め太鼓の小気味のよいテンポを聞かせる早間(はやま)』『その合間に行く中間(ちゅうま)』が完成しました。江戸の祭り囃子の構成は、大太鼓一人・締め太鼓二人・笛一人・鉦(かね)一人の五人囃子で、屋台・昇殿・鎌倉・仕丁目(玉入れ)・上がり屋台が通常の曲目です。

全国の祭り囃子では、『祇園囃子(京都)』『飾山囃子(秋田)』『佐原囃子(千葉)』『秩父屋台囃子(埼玉)』などが有名です。地域のそれぞれの特色を出したものが、多く伝承されています。東京には『江戸の祭り囃子』が定着しました。

【ねりまのお囃子】

現在、練馬区内で活動している囃子連は、14団体あります。

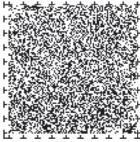
神田流大間(発祥地=千代田区神田)は練馬地域に多く伝承し、経堂流早間(発祥地=世田谷区経堂)は石神井地域に多く伝承しています。中間は、田淵流(発祥地=杉並区阿佐ヶ谷)と船橋流(発祥地=世田谷区千歳船橋)が伝承されています。

囃子の流儀を調べることにより、囃子の師匠筋や伝播ルートを読み取ることが出来ます。また、囃子に使われる道具類からは、おおよその発生起源を知ることも出来ます(例=関町囃子の鉦に「明治5年関村はやし」の銘が刻まれている)。

練馬区における祭り囃子は、古い伝統のまま伝承されていること、また、ほとんどの囃子連が、寿獅子や仁羽(にんば)などの付随芸能を伝承していることが特色です。

No	名称	保存団体	地域	活動	登録
1	石神井囃子	石神井町囃子連	石神井町	10月氷川神社(石神井台)祭礼など	平成元年度
2	中村囃子	中村囃子連	中村	9月八幡神社(中村南)祭礼など	平成2年度
3	関町囃子	関町囃子保存会	関町	9月天祖若宮八幡宮(関町北)祭礼など	平成3年度
4	中里囃子	中里囃子連	大泉町	元旦八坂神社(大泉町)祭礼など	平成5年度
5	田柄囃子	田柄囃子保存会	田柄	10月天祖神社(田柄)祭礼など	平成14年度
6	石神井台囃子	石神井台囃子連	石神井台	4月厳島神社(石神井台)祭礼など	平成14年度
7	南田中囃子	南田中囃子保存会	南田中	10月稻荷神社(南田中)祭礼など	平成14年度
8	貫井囃子	貫井囃子保存会	貫井・高松	6月須賀神社(貫井)祭礼など	平成15年度
9	富士見台囃子	富士見台囃子保存会	富士見台	10月稻荷神社(富士見台)祭礼など	平成15年度
10	谷原囃子	谷原囃子保存会	谷原・高野台	10月氷川神社(高野台)祭礼など	平成15年度
11	白山神社囃子	白山神社囃子連	練馬	10月白山神社(練馬)など	平成16年度
12	北町囃子	北町囃子保存会	北町	9月氷川神社(北町)祭礼など	平成16年度
13	上石神井囃子	上石神井囃子連中	上石神井	9月石泉囃子連合会大会(JAあおば)など	平成16年度
14	仲若囃子	仲若囃子連	氷川台	4・9月の氷川神社(氷川台)祭礼など	—

区内の囃子団体の詳細については
区ホームページをご覧ください。



榎本家の年中行事



主屋(大正12年頃と記書がある)



令和元年の主屋

練馬区の典型的な屋敷構えをもつ榎本家(羽沢三丁目)の主屋、納屋等の建物調査を行う中で、令和元年(2019)7月から令和2年(2020)2月にかけて、農家の暮らしとともに伝わってきた榎本家の年中行事のお話をうかがいました。取材に応じていただいたご当主はお亡くなりになりましたが、ご家族の了承を得て当時の記録を紹介します。

羽沢三丁目は、区東部、石神井川の右岸、氷川台駅の北東側に位置します。榎本家は氷川神社の氏子、莊嚴寺の檀家で、江戸時代から続くと伝わる農家です。昭和8年(1933)生まれのご当主、榎本良氏は五代目ということです(令和2年時点)。かつての屋敷地には、明治時代に建てられた主屋ほか、納屋、牛小屋、外便所、稻荷社、屋敷森がありました。榎本家の畠では、8月頃に大根の種を播き、11~12月に収穫・出荷、大根が終わると麦を播きました。大麦は5月、小麦は6月に収穫し、麦の間にキュウリ、ナス、トマト等を作付するなど、農作業は家族5人程で行いました。榎本家の年中行事の一部を、行事毎に紹介します。



神棚

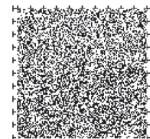


年神の神棚

○元旦(1月1日) 朝、最初についた餅を自家の神、氷川神社、莊嚴寺に奉納する。年神は神棚を特別に設けて祀る。神前にマツの枝を飾り、お膳を置く。マツは良い知らせを待つという縁起担ぎ。正月中は朝昼晩に灯明をつけ、神のお膳に食事を供える。味見はしない。供える際は必ず火打石で切火をして穢れや邪気を払う。神に関わる年中行事は家族に物故者がいる年は行わない。

○蔵開き(1月11日) 鏡餅を下げ、割って、焼いて食べたり、保存食にする。

○繭玉作り(1月14日)と小正月(1月15日) 小正月前の6日にニワトコの木を削って花を作り、玄関と台所に飾る。14日は繭玉作りといい、花を飾ったニワトコの木に繭玉と呼ぶ団子(実)をつける。小正月の15日にその団子を小豆粥に入れて食べる。農作物に実がなるように願いを込めている。昔は畠で作った麦を脱穀し、石臼で引いて団子やまんじゅう、うどんを作った。なお、16日は「叢入り(やぶいり)」と呼び、かつては正月が一段落した後、嫁いだ女性が実家に帰った。





ニワトコの木を削って花を作る良氏



木を削って作った飾り花

←ニワトコの木で作った花と団子

○節分(2月3日) 家の全ての出入口、玄関や窓等に木の枝につけたイワシの頭とスギの葉を飾る。イワシは目が光るので魔除けになる。かつてヒイラギを使用したが、現在は同じように先が尖ったスギの葉を代用しているという。豆まきには、畑で採れた大豆を炒ったが、今は購入品。豆まきの掛け声は「福は内、福は内、鬼は外」で、直ぐに扉を閉めて福が逃げないようにする。その年の縁起の良い方角(恵方)を向いて豆をまく。



大豆とイワシの頭の串刺し

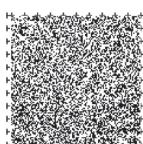
←イワシの頭とスギの葉



榎本家の稻荷社とのぼり旗

○初午(2月の午の日) 五穀豊穫の神稻荷に豊作と家内安全を祈る。毎年、羽根沢稻荷神社(羽沢2-22)で初午行事に参列後、自家の稻荷社で初午を行う。稻荷社は主屋の北東の方角、鬼門に位置。社の周りに稻荷大明神と稻穂の紋がついたのぼり旗を立てる。アサリ、メザシ等の海のもの、赤飯、狐に因んだ油揚げ等を供える。

○迎え盆(7月13日)、送り盆(15日)、盂蘭盆(24日) 12日に莊厳寺の施餓鬼の会に行く。13日が迎え盆で、盆棚を家族で作り、夕方、家から四角い提灯を持って近所の路傍の地蔵前に仏を迎えて行く。盆棚下段にスギ、上段にホウズキ(魂が入るから)や畑で採れた野菜、棚の周りに笹を飾る。上段に十三仏の掛け軸、位牌、仏具、蠟燭等を配し、さいの目に切ったナスと水とミソハギ、野菜、果物、まんじゅう、ナスで作った牛等を供える。牛の背中にうどんを乗せる。先祖に施餓鬼がついてくるので、供養のため下段は施餓鬼用供物を置く。14日は住職が来て経をあげる。14日と15日は親戚が家を訪問して盆棚を拝む。15日は送り盆で、朝にまんじゅうまたはおはぎ、昼にうどんを供える。迎えは早く、帰りは遅くなるように、午後8時半から9時頃に送り火を焚き、提灯に火を移して地蔵の前で線香をあげる。24日は盂蘭(うら)盆で、前日に盆棚を作る。仏壇の大日如来の本尊を移し、供物を飾る。親戚が集まり墓参りに行く。





盆棚飾り全体



盆棚上段



十三夜の供物

○十五夜・十三夜 取材時の令和元年は、十五夜は9月13日、十三夜は10月11日。収穫した野菜を供えて月見をする。ススキ、収穫物、酒等十五夜は5つずつ、十三夜は3つずつ用意する。十五夜にはまんじゅうと茹でた里芋を供え、十三夜にはおはぎと里芋の煮付けを供えるなど、お供え物が重複しないように工夫をする。団子は十五夜に15個、十三夜に13個用意する。

○荒神様のおたち(10月31日)・荒神様のお帰り(11月30日)

「荒神様(こうじんさま)のおたち」というのは荒神が出雲(島根県)へ帰るので見送る行事。「中帰り(なかがえり)」はしない(この期間、途中で帰ってこない)。11月30日に戻るので、迎える行事が「荒神様のお帰り」である。榎本家は台所のかまどの上と神棚に2カ所、荒神を祀る。神棚にキクの生花とマツを飾り、キクは「良い話を聞く」、マツは「良い話を待つ」に通じ、荒神が出雲で色々な良縁を結んできてくれることを祈る。団子は36個供える。36は荒神の子どもの数。かまどの神棚に「お神馬(じんめ)」と呼ぶ絵馬を飾る。絵馬は、昔は売りに来ていたが、今は貫井の平田さん(注)の店で毎年買う。荒神がたつ時に鳥、帰りの時に馬の絵馬を飾る。

(注)平田郡司氏は、平成5年度区登録無形文化財の小絵馬制作技術の保持者である。約11×15センチメートルの経木に、型紙を使用して、馬、鶏、狐、蛇などの図柄を描き、枠木を屋根形に貼り付けて絵馬を制作する。



荒神を祀るかまどの上



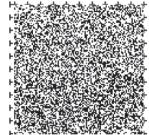
絵馬「お神馬」

○えびす講(12月10日)

毎年12月10日、埼玉県さいたま市大宮区の武藏一宮氷川神社の十日市が開かれる日に、家族の代表が参詣し、恵比寿と大黒の札をいただき、台所の隣の戸棚の上で、恵比寿と大黒の木像と一緒に祀り、商売繁盛、家内安全、健康、五穀豊穣を祈る。木像は今まで遡るかわからないが、良氏の祖父の代からあった。普段は居間の神棚に祀るが、えびす講の日は供物を捧げる所以広い場所が必要なため、台所隣の戸棚に移すようになった。朝うどんを作り、尾頭付きのサバを2匹供える。賽銭を積み上げる。



えびす講の日の供物



【練馬区指定・登録文化財一覧】

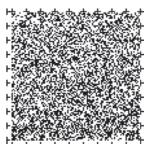
網掛け番号は欠番です。非は非公開、路は路上からのみ見学可能です。

(管)は管理者。ふる文は石神井公園ふるさと文化館の略です。

練馬区指定文化財一覧			
年度	No.	名 称	登録年度
平成元	1	小島家文書	昭和62年度
	2	南蔵院鐘樓門	昭和63年度
	3	北条氏康印判状	非
2	4	町田家文書	昭和63年度
	5	中里の富士塚	昭和61年度
	6	大八車	昭和63年度
	7	服部半蔵奉納の仁王像	昭和62年度
3	8	長命寺仁王門	平成元年度
	9	春日町出土の壺形土器	平成元年度
	10	妙福寺文書	非
4	11	尾崎遺跡出土品	平成3年度
	12	下練馬の大山道道標	平成3年度
5	13	下練馬の富士塚	平成元年度
	14	豊島氏奉納の石燈籠	昭和62年度
6	15	氷川神社富士塚	平成2年度
	16	鶴の舞	平成4年度
	17	御府内并村方旧記	非
7	18	北町聖観音座像	昭和62年度
	19	井口家文書	非
8	20	井口家文書	平成6年度
	21	井口家文書	非
	22	長享二年の申待板碑	昭和61年度
	23	練馬東小学校のフジ	路
	24	石幢七面六觀音勢至道しるべ	路
9	25	長命寺の梵鐘	昭和61年度
	26	三宝寺の梵鐘	昭和61年度
	27	妙福寺の梵鐘	昭和62年度
	28	閻魔・十王像と檀箪幢	昭和63年度
10	29	千川家文書	平成9年度
	30	丸山東遺跡出土の木製品	平成8年度

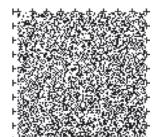
年度	No.	名 称	登録年度
11	31	小美濃英男家文書	非
	32	本寿院のみくじ道具	非
12	33	相原家薬医門	路
	34	関のかんかん地蔵	昭和63年度
13	35	金乗院御朱印状	非
14	36	伊賀衆奉納の水盤・鳥居	昭和63年度
15	37	井頭のヤナギ	平成元年度
17	38	神輿渡御行列図絵馬	非
19	39	内田家の屋敷林	路
	40	旧内田家住宅	平成19年度
20	41	中宮遺跡5号住居址の盛土状 遺構出土品	平成8年度
21	42	愛染院文書	非
23	43	丸山東遺跡出土の石棒	平成21年度
24	44	小竹遺跡出土の大珠	平成16年度
26	45	金銅製飾具	平成2年度
28	46	田中家資料	非
令和元	47	永享八年の夜念佛板碑	平成27年度
	48	旧見留家納屋	令和元年度
2	49	丸山東遺跡出土の片口土器	平成25年度
6	50	三宝寺山門	平成7年度

練馬区登録文化財一覧			
有形文化財			
年度	No.	名 称・所 在	所有者等
昭和61	1	長命寺の梵鐘 高野台3	長命寺
	2	三宝寺の梵鐘 石神井台1	三宝寺
	3	北条氏康印判状 石神井台1	非
	4	長享二年の申待板碑 *有形民俗文化財No.19へ変更	
62	5	服部半蔵奉納の仁王像 高松3	御嶽神社
	6	豊島氏奉納の石燈籠 石神井台1	氷川神社
	7	石幢七面六觀音勢至道しるべ 中村3(良弁塚)	路 (管)南蔵院
	8	双蝶々曲輪日記図絵馬 高野台3	非
			長命寺



年度	No.	名 称・所 在	所有者等
62	9	牛若丸・弁慶図絵馬 高野台3	非 長命寺
	10	妙福寺の梵鐘 南大泉5	妙福寺
	11	小島家文書	(所)個人(管)ふる文
63	12	南蔵院鐘樓門 中村1	南蔵院
	13	氷川神社の旧拝殿 豊玉南2	氷川神社
	14	榎本家長屋門 南田中4	路 個人
	15	氷川神社の水盤 石神井台1	氷川神社
	16	角柱型水盤 氷川台4	氷川神社
	17	閻魔・十王像と檀拏幢 大泉町6	教学院
	18	氷川神社の狛犬 氷川台4	氷川神社
	19	町田家文書 東大泉7	非 個人
	20	伊賀衆奉納の水盤・鳥居 大泉町5	氷川神社
	21	長命寺仁王門 高野台3	長命寺
平成元	22	加藤家文書 土支田4	非 個人
	23	妙福寺文書 南大泉5	非 妙福寺
	24	春日町出土の壺形土器	ふる文
	25	旧震災復興仮設住宅 *移転により、平成11年度登録解除	
	26	尾張殿鷹場碑 大泉町3(大泉第一小学校)	練馬区
	27	相原家薬医門 田柄5	路 個人
2	28	横山家文書 高野台1	非 個人
	29	新井家文書 桜台3	非 個人
	30	縄文時代の竹カゴ	ふる文
	31	金銅製飾具	ふる文
	32	尾張殿鷹場碑	(所)個人(管)ふる文
	33	宮田橋敷石供養塔 高松2	(管)練馬区
3	34	下練馬の大山道道標 北町1	練馬区
	35	紙本着色以天宗清像 桜台6	非 廣徳寺
	36	絹本着色明叟宗普像 桜台6	非 廣徳寺
	37	紙本墨画淡彩希叟宗罕像 桜台6	非 廣徳寺
	38	土支田八幡宮の半鐘 土支田4	非 土支田八幡宮
	39	阿弥陀寺の半鐘 練馬1	非 阿弥陀寺
	40	御府内并村方旧記 平和台1	非 個人
	41	尾崎遺跡出土品 春日町5(春日小学校)	練馬区
	42	莊家文書	(所)個人(管)ふる文
	43	増島家薬医門 谷原3	路 個人
5	44	井口家文書 関町北2	非 個人
	45	比丘尼橋遺跡出土の旧石器	ふる文

年度	No.	名 称・所 在	所有者等
6	46	相原正太郎家住宅 春日町5	非 個人
	47	石製絵馬 南田中5	非 稲荷神社
	48	井口家文書 関町北2	非 個人
	49	武蔵関遺跡出土の大型槍先形石器	ふる文
7	50	三宝寺山門 石神井台1	三宝寺
	51	井口家文書 関町南4	非 個人
	52	小美濃英男家文書 大泉学園町2	非 個人
	53	高稻荷遺跡出土の旧石器	ふる文
8	54	西大泉の稻荷神社本殿 西大泉5	非 稲荷神社
	55	阿弥陀寺の伏せ鉢 練馬1	非 阿弥陀寺
	56	金乗院御朱印状 錦2	非 金乗院
	57	丸山東遺跡出土の木製品	ふる文
	58	中宮遺跡5号住居址の盛土状遺構出土品*平成20年度に出土品を追加し名称変更	ふる文
9	59	氷川神社の神輿 豊玉南2	非 氷川神社
	60	本寿院の賽銭箱 早宮2	非 本寿院
	61	明叟宗普の墨跡 桜台6	非 廣徳寺
	62	千川家文書	ふる文
10	63	八幡神社の本殿 中村南3	非 八幡神社
	64	北町の仁王像 北町2(北町観音堂)	(管)北町二丁目町会
	65	長谷川家文書 春日町3	非 個人
11	66	絹本着色釈迦十六善神像 桜台6	非 廣徳寺
	67	橘紋椿几帳柄鏡 石神井町5	非 禅定院
	68	八ヶ谷戸遺跡出土の大形把手付縄文土器	ふる文
12	69	中野屋商店文書	ふる文
13	70	石神井城跡出土小刀	ふる文
	71	子ノ聖観世音碑 貫井5	円光院
	72	広川松五郎関係資料 練馬4	非 個人
14	73	相原好吉家文書 田柄5	非 個人
15	74	小林家住宅 桜台5	非 個人
	75	石神井西尋常小学校のリードオルガン	ふる文
	76	木下家文書	ふる文
16	77	栗原家文書	ふる文
	78	小竹遺跡出土の大珠	ふる文
	79	丸山東遺跡方形周溝墓出土品	ふる文
	80	千川上水の記録フィルム	ふる文

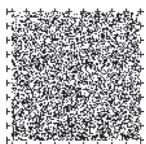


年度	No.	名 称・所 在	所有者等
17	81	織部燈籠 高松3	非 個人
	82	愛染院の梵鐘 春日町4	愛染院
	83	閔口家文書 土支田3	非 個人
	84	内国勧業博覧会褒状	ふる文
	85	東早淵遺跡出土の局部磨製石斧	ふる文
	86	千川上水調査アルバム 豊玉上1	根津育英会 武藏学園
18	87	中村南遺跡第2地点 5号住居址出土土器 中村南1(中村南スポーツ交流センター)	練馬区
	88	田中家資料 北町5 *平成28年度に名称変更	非 個人
	89	関東大震災犠牲者慰靈碑 錦1	円明院
19	90	旧内田家住宅 石神井町5(池淵史跡公園)	練馬区
	91	八幡神社の水盤 中村南3	八幡神社
	92	十一面觀音懸仏 氷川台3	非 光傳寺
	93	光伝寺の地蔵菩薩立像および 閻魔十王像 氷川台3	非 光傳寺
	94	下練馬の三十三所觀音菩薩像 氷川台3	非 光傳寺
	95	愛染院文書 春日町4	非 愛染院
	96	大泉井頭遺跡出土の有孔鍔付土器	ふる文
20	97	篠家文書 桜台2	非 個人
	98	小野蘭山墓および墓誌 練馬4 *墓誌は平成23年11月から、ふる文で保管	迎接院
21	99	丸山東遺跡出土の石棒	ふる文
22	100	武内家資料	ふる文
	101	天祖神社東遺跡出土の石核	ふる文
23	102	貫井の東高野山道道標 貫井5	個人
	103	北新井遺跡出土の土偶	ふる文
24	104	正親町天皇綸旨 桜台6	非 廣徳寺
	105	明叟宗普道号頌 桜台6	非 廣徳寺
	106	明叟宗普書状 桜台6	非 廣徳寺
	107	妙福寺の駕籠 南大泉5	非 妙福寺
	108	石神井火車站之碑 石神井町3	練馬区
25	109	草摺引図絵馬 氷川台4	非 氷川神社
	110	森田家資料	ふる文
	111	丸山東遺跡出土の片口土器	ふる文
	112	アニメーション撮影台	ふる文
26	113	加藤家文書 南大泉3	非 個人

年度	No.	名 称・所 在	所有者等
27	114	武藏学園大講堂 豊玉上1	根津育英会 武藏学園
	115	武藏大学3号館 豊玉上1	根津育英会 武藏学園
	116	阿弥陀堂の半鐘 北町2	阿弥陀堂
	117	五十嵐家文書	ふる文
29	118	千川堤植櫻楓碑 小竹町1	浅間神社
30	119	金乗院山門 *所有者申出により令和6年度登録解除	
	120	山口家資料	ふる文
令和元	121	旧見留家納屋 土支田3(土支田農業公園)	練馬区
2	122	鴨下家文書	ふる文
3	123	光傳寺の半鐘 氷川台3	非 光傳寺
	124	妙福寺の半鐘 南大泉5	妙福寺
	125	妙福寺の半鐘 南大泉5	妙福寺
4	126	豊島家文書	ふる文
5	127	北新井遺跡出土の縄文土器 豊玉上1	非 根津育英会 武藏学園

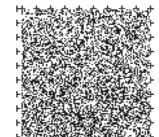
無形文化財			
年度	No.	名 称	所有者
平成元	1	鼈甲螺鈿蒔絵 *平成6年死亡により登録解除	土方吉雄
4	2	棒柄の製作技術 *平成7年死亡により登録解除	井口平蔵
5	3	絵馬制作	平田郡司
6	4	ホウキ製造技術 *平成10年死亡により登録解除	鹿島佐平
	5	ホウキ製造技術 *平成23年死亡により登録解除	篠田歳治

有形民俗文化財			
年度	No.	名 称・所 在	所有者等
昭和61	1	江古田の富士塚 小竹町1	路 浅間神社
	2	中里の富士塚 大泉町1(富士浅間神社)	中里富士講
62	3	北町聖觀音座像 北町2(北町觀音堂)	(管)北町二丁目町会
	4	弥陀三尊来迎画像板碑 石神井台1	三宝寺
63	5	大八車	ふる文
	6	閔のかんかん地蔵 閔町東1	(管)三宝寺
平成元	7	狐の大根取り入れ図絵馬 西大泉3	非 諏訪神社
	8	下練馬の富士塚 北町2	浅間神社
2	9	氷川神社富士塚 北町8	氷川神社
	10	沢庵漬製造用具	ふる文
3	11	文応元年の弥陀板碑 石神井台1	非 道場寺
4	12	氷川神社の力石 豊玉南2	氷川神社



年度	No.	名 称・所 在	所有者等
4	13	高松の庚申塔 高松2	練馬区
5	14	僧形馬頭観音 早宮2	本寿院
	15	金乗院の一石六地蔵 錦2	金乗院
6	16	丸彫青面金剛庚申塔 下石神井5	伊保ヶ谷戸 庚申講
7	17	本寿院のみくじ道具 早宮2	非 本寿院
	18	力持ち惣兵衛の馬頭観音 大泉学園町7	個人
	19	長享二年の申待板碑	ふる文
8	20	石幢六面六地蔵 石神井町5	禅定院
	21	織部燈籠 石神井町5	禅定院
9	22	富士講巡拝装束	ふる文
10	23	棒屋資料	ふる文
11	24	井戸替え用具	ふる文
	25	醤油醸造業用具	ふる文
	26	斎藤水車用具 南田中1	非 個人
	27	丸彫聖観音立像廻国供養塔 旭町2(上練馬公園)	練馬区
12	28	江古田の富士講関係資料 小竹町1	非 浅間神社
	29	神輿渡御行列図絵馬 氷川台4	非 氷川神社
	30	谷原延命地蔵 谷原1	練馬区
13	31	二十三夜待供養塔 下石神井6	天祖神社
	32	大氷川の力石 氷川台4	氷川神社
16	33	林稻荷神社の庚申塔 豊玉北1	林稻荷神社
	34	高松の板碑型庚申塔 高松1	個人
18	35	八幡神社の石造大山不動明王像 高松1	八幡神社
	36	御嶽講奉納の水盤 富士見台3	稻荷神社
20	37	福德元年の月待板碑 南大泉5	非 妙福寺
21	38	谷原の庚申塔 富士見台4	個人
23	39	三原台の馬頭観音	練馬区
	40	上石神井立野の庚申塔 上石神井1	練馬区
	41	出羽三山・百八十八ヶ所 観音供養塔 上石神井1	練馬区
24	42	本覚寺の版木 旭町1	非 本覚寺
25	43	文明十七年の月待板碑 錦1	非 円明院
	44	文龜元年の月待板碑 錦1	非 円明院
27	45	高松の御嶽講関係資料 高松6	非 練馬御嶽一山開闢講 社
	46	永享八年の夜念仏板碑 石神井台1	三宝寺
令和4	47	東本村の庚申塔 平和台1	練馬区

無形民俗文化財			
年度	No.	名 称・所 在	所有者等
昭和63	1	探湯の儀 中村3	御嶽神社
平成元	2	関のぼろ市 関町北4(本立寺門前)	本立寺
	3	八丁堀三吉囃子	八丁堀三吉囃子保存会
	4	石神井囃子	石神井町囃子連
2	5	中村囃子	中村囃子連
3	6	ちがや馬飾り *平成7年死亡により登録解除	内田安太郎
	7	谷原の餅搗き唄 *平成22年死亡により登録解除	増島兼吉
	8	谷原の麦ボウチ唄 *平成22年死亡により登録解除	増島兼吉
	9	関町囃子	関町囃子保存会
	10	鶴の舞 氷川台4	氷川神社宮宿 鶴の舞保存会
4	11	神輿渡御の御供道中歌 氷川台4	
	12	ちがや馬飾り *平成24年死亡により登録解除	内田和助
	13	ちがや馬飾り *平成30年死亡により登録解除	加藤義雄
	14	ちがや馬飾り *平成21年死亡により登録解除	山口勝男
5	15	中里囃子	中里囃子連
14	16	田柄囃子	田柄囃子保存会
	17	石神井台囃子	石神井台囃子連
	18	南田中囃子	南田中囃子保存会
	19	大山講灯籠立て行事	向三谷大山講
	20	貫井囃子	貫井囃子保存会
15	21	春日町囃子	春日町囃子連
	22	富士見台囃子	富士見台囃子保存会
	23	谷原囃子	谷原囃子保存会
	24	白山神社囃子	白山神社囃子連
16	25	北町囃子	北町囃子保存会
	26	上石神井囃子	上石神井囃子連中
22	27	ちがや馬飾り	丹羽幸男
	28	ちがや馬飾り	伊藤弥五郎



史跡			
年度	No.	名称・所在	所有者等
昭和63	1	東高野山奥之院 高野台3	長命寺
	2	小野蘭山墓 *墓誌を追加・名称変更し有形文化財No.98へ変更	
	3	池永道雲墓 練馬4(受用院)	個人
	4	尾崎遺跡 春日町5(春日小学校) *見学時は春日小学校に要申込	練馬区
	5	池淵遺跡 石神井町5(池淵史跡公園)	練馬区
	6	栗原遺跡の豎穴住居跡 氷川台1(城北中央公園)	東京都
	7	千川上水跡 関町南2~4	東京都
平成元	8	旧大泉村役場跡 大泉学園町2(大泉中島公園)	練馬区
	7	田柄用水記念碑 田柄4	天祖神社
	8	千川家の墓 北町2(阿弥陀堂)	個人
14	11	河野鎮平筆子碑 春日町3	寿福寺
	12	田柄用水跡 石神井台8 けやき憩いの森	練馬区
16	13	圓淨法師塚 春日町5	練馬区
18	14	観蔵院の筆子碑 南田中4	観蔵院

名勝			
年度	No.	名称	所有者
平成8	1	牧野記念庭園 東大泉6	練馬区

天然記念物			
年度	No.	名称・所在	所有者等
昭和63	1	練馬白山神社の大ケヤキ 練馬4	白山神社
平成元	2	井頭のヤナギ 東大泉7(大泉井頭公園)	練馬区
	3	カタクリ群落 大泉町1(清水山の森)	練馬区
3	4	八の釜の湧き水 東大泉2	非 国
	5	内田家の屋敷林 早富3	路 個人
6	6	練馬東小学校のフジ 春日町1(練馬東小学校)	路 練馬区
10	7	光伝寺のコウヤマキ 氷川台3	光傳寺
16	8	開進第一小学校のクスノキ 早富2(開進第一小学校)	練馬区
17	9	土支田八幡宮の社叢 土支田4	土支田八幡宮
21	10	井口家の屋敷林 立野町	個人
23	11	金乗院の大イチョウ 錦2	金乗院

国指定文化財					
●天然記念物					
・練馬白山神社の大ケヤキ(練馬4 白山神社)					
・三宝寺池沼沢植物群落(石神井台1 石神井公園)					
●重要有形民俗文化財					
・江古田の富士塚(小竹町1 浅間神社)			路		
●歴史資料					
・銀板写真(黒川嘉兵衛像)(旭丘2 日本大学芸術学部)			非		
国登録文化財					
●登録有形文化財					
・青柳家住宅主屋(羽沢1)			非		
・佐々木家住宅主屋(小竹町1)			路		
都指定文化財					
●史跡					
・東高野山奥之院(高野台3 長命寺)					
・尾崎遺跡(春日町5 春日小学校)	*見学時は春日小学校に要申込				
・石神井城跡(石神井台1 石神井公園)			路		
●旧跡					
・池永道雲墓(練馬4 受用院墓地)					
・練馬城跡(向山3)					
●名勝および史跡					
・牧野記念庭園(東大泉6 牧野富太郎宅跡)					
●有形文化財					
・板絵着色役者絵(高野台3 長命寺)			非		
・小野蘭山墓及び墓誌(練馬4 開進院墓地)(墓誌はふる文で保管)					
・丸山東遺跡方形周溝墓出土品(ふる文)					

練馬区の文化財の指定・登録

昭和61年度(1986年度)に練馬区文化財保護条例を施行し、文化財を指定・登録しています。登録文化財の中で特に重要なものを順次「指定文化財」としています。登録文化財とは、区の文化財台帳に登録された文化財です。

これは区が文化財の状況を把握して、所有者の方などと協力しながら、保護・活用を図るための制度です。令和8年2月現在、指定文化財は50件、登録文化財は219件となっています。

